

【小笠原村】胃がん検診（胃内視鏡検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	していない
検査方法（胃内視鏡検査）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	498	330	828
【東京都調査による対象者率（東京都）：57.9%】			
実際の受診者数	103	68	171

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	35.8%	35.6%	35.7%
要精検率	11%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検受診率	70%以上	-	-	-
精検未把握率	10%以下	-	-	-
精検未受診率	20%以下	-	-	-
陽性反応適中度	1.0%以上	-	-	-
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	胃内視鏡（40～49歳）、毎年
左記以外の検査の実施	していない

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	—
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

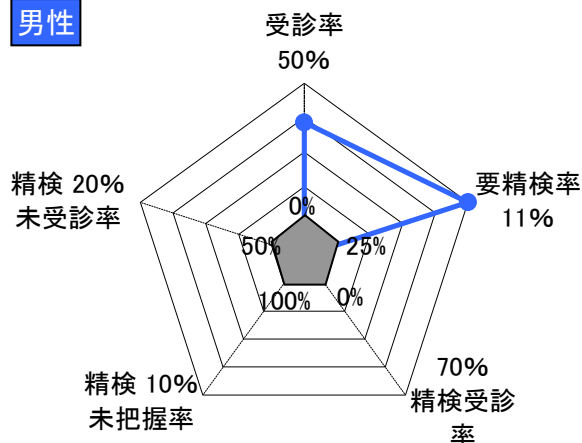
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

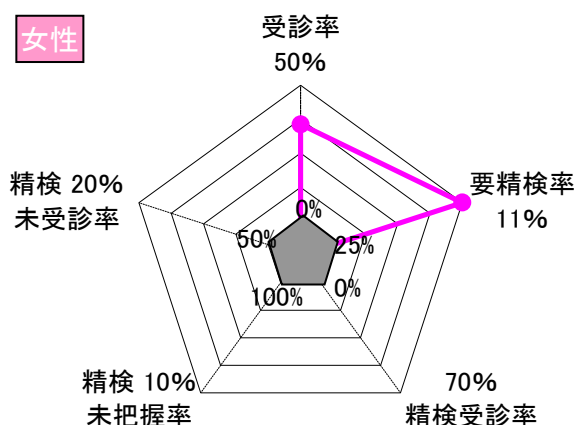
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<2年連続受診者未把握>

2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。

【小笠原村】 肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	770	559	1,329
【東京都調査による対象者率(東京都): 64.8%】			
実際の受診者数	298	268	566

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	59.7%	74.0%	65.7%
要精検率	3%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検受診率	70%以上	-	-	-
精検未把握率	10%以下	-	-	-
精検未受診率	20%以下	-	-	-
陽性反応適中度	1.3%以上	-	-	-
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

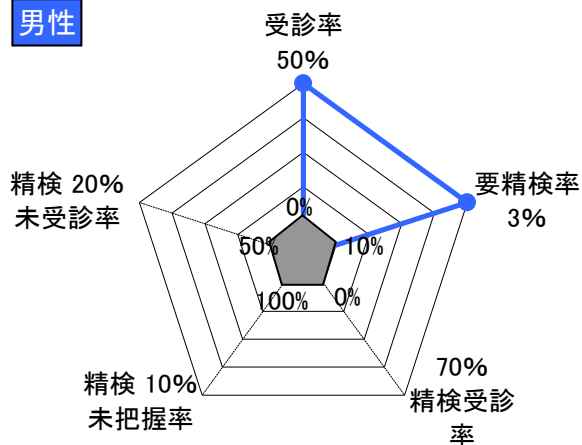
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

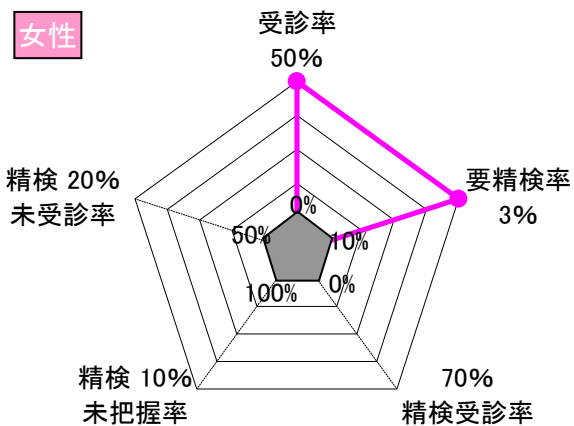
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】



【小笠原村】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	770	559	1,329
【東京都調査による対象者率（東京都）：61.3%】			
実際の受診者数	44	31	75

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	9.3%	9.0%	9.2%
要精検率	7%以下	4.5%	0.0%	2.7%
精検受診率	70%以上	未把握	-	未把握
精検未把握率	10%以下	100.0%	-	100.0%
精検未受診率	20%以下	未把握	-	未把握
陽性反応適中度	1.9%以上	未把握	-	未把握
がん発見率	0.13%以上	未把握	0.00%	未把握

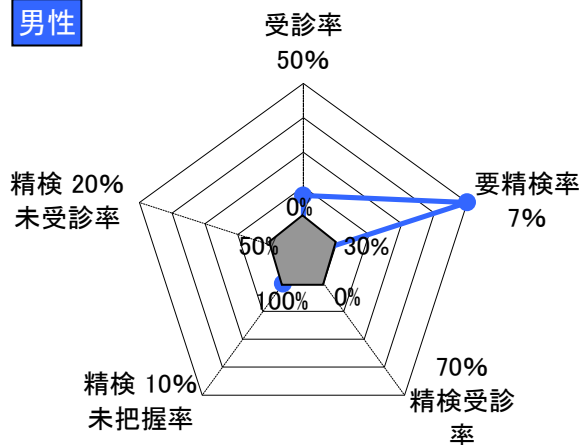
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

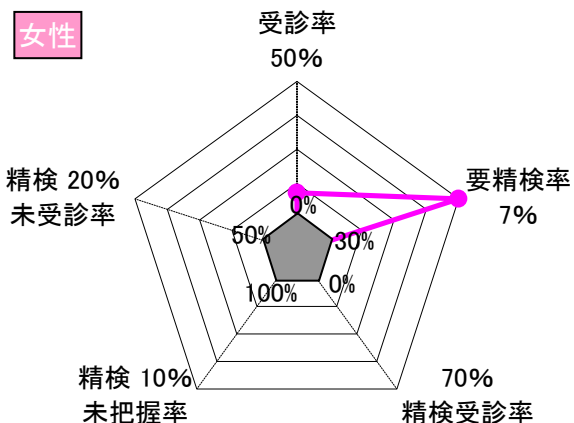
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【小笠原村】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	していない
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	20、25、30歳以上、毎年
左記以外の検査の実施	コルポスコープ診及び 超音波検査

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		892	
【東京都調査による対象者率（東京都）：64.2%】			
実際の受診者数		382	

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		66.7%	
要精検率	1.4%以下		1.8%	
精検受診率	70%以上		未把握	
精検未把握率	10%以下		100.0%	
精検未受診率	20%以下		未把握	
陽性反応適中度	4.0%以上		未把握	
がん発見率	0.05%以上		未把握	

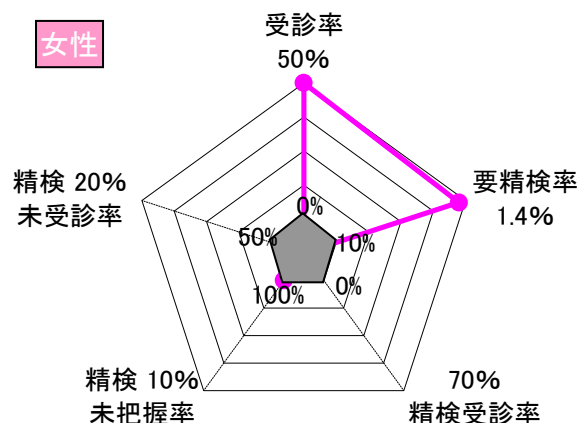
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】



<2年連続受診者未把握>

2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【小笠原村】 乳がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	毎年
検査方法（マンモグラフィ）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		559	
【東京都調査による対象者率（東京都）：65.5%】			
実際の受診者数		12	

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	30歳以上、毎年
左記以外の検査の実施	マンモグラフィまたは超音波検査(選択制)

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	していない
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		3.3%	
要精検率	11%以下		0.0%	
精検受診率	80%以上		-	
精検未把握率	10%以下		-	
精検未受診率	10%以下		-	
陽性反応適中度	2.5%以上		-	
がん発見率	0.23%以上		0.00%	

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<2年連続受診者未把握>

2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。

